

平成28年6月定例会 審議した議案とその結果

| 議案番号 | 議案第55号 | 議案第56号 | 議案第57号 | 議案第58号 | 議案第59号 | 諮問第2号 | 議員提出議案第2号 | 請願第2号 |
|----------|--------------|--------|--------|--------|--------|-------|-----------|-------|
| 議員名 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案同意 | 原案同意 | 原案同意 | 否決 | 不採択 |
| 1 川田 匡文 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 2 真鍋 順穂 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 3 松永 恭二 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 5 水本 徹雄 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 6 佐野 大輔 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 7 神田 泰孝 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 8 多田 光廣 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 9 小橋 清信 | 議長のため採決に参加せず | | | | | | | |
| 10 山本 直久 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 11 岡田 剛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 12 大前 誠治 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 13 三宅 真弓 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 14 中谷真裕美 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15 尾崎淳一郎 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 16 加藤 正員 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 17 藤田 伸二 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 19 高木 新仁 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 20 三谷 節三 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 21 福部 正人 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 22 内田 俊英 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 23 国方 功夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 24 片山 圭之 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● |
| 25 松浦 正武 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 26 横川 重行 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 27 三木 まり | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○：賛成、●：反対 ーは除斥または欠席した者です。

議会の動き

4・5・6月

4月

- 1日 議会運営委員会
各派会長会
- 11日 市庁舎整備等特別委員会
- 13日 広報広聴委員会
各派会長会
議会運営委員会
- 19日 全員協議会
各派会長会
- 22日 議会改革特別委員会
- 25日 各派会長会
4月臨時会
各派会長会
広報広聴委員会

5月

- 9日 各派会長会
議会運営委員会
広報広聴委員会
都市経済委員会協議会
教育民生委員会協議会
- 23日 生活環境委員会協議会
教育民生委員会協議会
- 24日 各派会長会
議会運営委員会
- 27日 全員協議会
議会改革特別委員会

6月

- 6日 各派会長会
定例会初日(6月24日まで)
全員協議会
- 9日 議会運営委員会
- 16日 広報広聴委員会
- 17日 生活環境委員会
生活環境委員会協議会
都市経済委員会
都市経済委員会協議会
- 20日 総務委員会
議員勉強会
議会改革特別委員会
- 21日 議員勉強会
- 24日 全員協議会
教育民生委員会協議会

一般質問

18人の議員が市の考えを問う



質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

真鍋 順穂

①地産地消による市民の食の安全確保と農業の成長産業化による地域経済の活性化②公園等の樹木管理③まちなか再生と中心市街地のグランドデザイン策定

加藤 正員

①児童虐待対策②丸亀創生塾「新明倫館」

大前 誠治

①防災対策②財政計画③職員管理

川田 匡文

①命の教育②丸亀駅北部のにぎわい創出③四国リニア新幹線誘致

水本 徹雄

①熊本地震を通じた防災・減災対策②子供や親の笑顔が見える子育て支援の取り組み③丸亀市の「四国一の住みよさ」PR強化④丸亀市民会館閉館

後の利用施設等の状況⑤全国落校サミット丸亀大会を契機として人財づくり

三木 まり

①地域住民からみる危機管理と防災の諸課題②女性の人権問題③核のゴミ処分方針に関連して

多田 光廣

①教育行政②丸亀城関連③スポーツ振興

中谷真裕美

①新庁舎の市民交流活動スペース具体化②子供の貧困対策

福部 正人

①世界記憶遺産登録を目指す鳴門市等との連携②路線バスのバス停設置③消防団員確保の推進④三世代同居・近居支援⑤マイナンバーカード受け取りの休日・時間外対応等⑥物品の購入における受注機会の拡大に向けて

神田 泰孝

①丸亀城整備等の募金②骨髓移

植下ナー支援③コミュニティバスマップ④防犯カメラ⑤投票率向上の仕掛け

横川 重行

①待機児童対策・子育て支援②自然災害に備えたまちづくり

片山 圭之

①第14回全国落校サミット丸亀大会

松浦 正武

①食育②食農(魚)教育

藤田 伸二

①大震災時に関連被害を抑える対策②保育士処遇改善への対応等③浄化センター再構築に当たっての再生可能エネルギーの活用④ヘイトスピーチ解消法成立を受けての本市の対応

国方 功夫

①丸亀創生塾「新明倫館」②地方公会計に関する改革と活用

尾崎淳一郎

①障害者総合支援法改正案②私

道における道路改修・カーブミラー設置などに対する市の援助③市空家等対策の推進に関する条例施行後の現状

内田 俊英

①小規模多機能自治の実現へ②新教育長の抱負と展望

佐野 大輔

①貧困対策②スペシャリスト育成と活用

本会議・委員会の傍聴しませんか

皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。

会議の当日、本館2階傍聴受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。

詳しくは、議会事務局へ。(TEL 24-88288)

農商工連携

ビジネスマッチングを

Q 真鍋議員 新たなビジネス展開のため、市内農産物の市内消費、加工事業者へのあっせん、多品目にわたる契約栽培の取りまとめ機関の設置など、生産者と需要者とのマッチングをどのように行うのか。

A 産業文化部長 事業所への啓発やPRとともに、加工業者や外食事業者などにニーズ把握に関するアンケートを年内をめどに実施し、J Aや青果市場、食品業界とのネットワークを持つ商工会などとの連携のもと、生産者と事業所とのマッチングの場を創出したい。その上でさらに需要が増えた場合、取りまとめ機関の設置を検討したい。

新明倫館

どのような活動か

Q 加藤議員 丸亀創生塾「新明倫館」の設置目的やカリキュラム、無料で行われているサロンゲスト交流会の内容は。

A 市長公室長 新明倫館は、1

年のカリキュラムを通じた人材育成を目的として、地域課題や創業実践、社会貢献型ビジネスや地方活性化について講義とフィールドワークを組み合わせて行っている。講義は専任講師による通常講義とオープンキャンパス方式のサロンゲスト交流会があり、客員講師との交流が受講生の人脈づくりに資するものと考えている。交流会は一般聴講も可能であり、生涯学習の場としても期待している。



サロンゲスト交流会

コミュニティセンター

計画どおりに整備を

Q 大前議員 コミュニティセン



建て替え中の城坤コミュニティセンター

ターの整備計画が市庁舎整備のために遅れることは、あつてはならない。計画を変更せず早期に整備すべきではないか。

A 市長 本市では、災害に備え、まず学校校舎や体育館の整備を最優先に進め、一昨年に耐震化率100%を達成した。今年度から城坤コミュニティセンターの建て替え工事に着手するが、飯野、垂水両センターは次の整備を予定している。

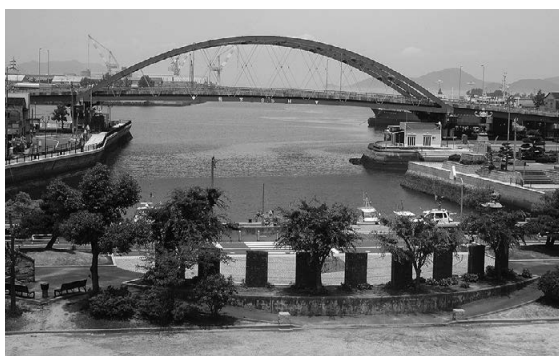
現在本市では、市庁舎などの整備に取り組んでおり、財政状況とあわせた検討が必要であるが、地元と協議し、できる限り早期の整備に努めたい。

丸亀駅北部

にぎわい創出を

Q 川田議員 さぬき浜街道4車線化など、今が丸亀駅北部のにぎわい創出のチャンスである。防災機能を備えた大型施設を誘致し、回遊観光できるようなグランドデザインを描く考えは。

A 都市整備部長 市北部は交通アクセスに恵まれており、大規模施設が立地すれば、かつてのにぎわいを取り戻すことが期待されるが、まずはエリアの魅力や価値を高めることが重要である。将来的には、議員提案のグランドデザインも一つの選択肢



新堀湛甫と京極大橋

であると認識しているが、当面は今ある地域特有の資源を有効に活用し、丸亀駅北部の魅力や価値を高めたい。

藩校サミットで

人財づくりを

【Q】水本議員 11月に開催される全国藩校サミット丸亀大会を契機とし、丸亀創生につながる人財づくりに取り組むべきと考えが見解は。

【A】教育長 全国藩校サミットは、丸亀藩の明倫館をはじめとする藩校の人材教育を振り返るとともに、本市の教育の在り方を考える機会と捉えている。地方創生に関わる人づくりを、丸亀市教育大綱、丸亀市人づくりビジョンとの関連を図りながら展開することは、大変意義があると認識しており、今後もPTAや地域コミュニティとの連携を生かして、丸亀発展の主役となる人づくりに努めたい。

女性の人権問題

市の対応は

【Q】三木議員 女性の人権が尊重

され、男女共同参画が推進されるための、本市の方向性と対応策を示されたい。

【A】総務部長 女性の人権問題の中でも、DV問題は早急な対応が必要な重点課題であり、いかなる暴力も許さないという意識を共有するため、女性相談窓口の周知も含め、広報、啓発活動を充実させていく。

男女共同参画社会の実現には、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の活躍推進が必要と考えており、市役所自らの率先した取り組みとあわせ、関係団体と連携し、市内事業所にも働き掛けていく。

体育協会の

役割と在り方

【Q】多田議員 市体育協会は、運営体制の改善が進んでおらず、スポーツ振興の中心的役割を果たせていないのではないかと、市長が会長を務めているが、実際の運営について誰が責任を持つのか。

【A】生活環境部長 運営体制の見直すべきところは改善していく。体育協会は、これまで様々

一般質問



体育協会事務局のある市民体育館

な事業を行い、市民の健康増進やスポーツへの関心の高まりに貢献してきた。今後も多様なスポーツ環境の提供に取り組んでいく。体育協会の運営は、理事会の指揮、責任のもとに事務局が行っているが、最終的な責任は会長が負うと考えている。

子供の貧困対策

支援の取り組みを

【Q】中谷議員 子供の貧困対策を進めるために、生活実態調査を行うことを求める。また、具体的な支援策として、就学援助制度の充実、学童保育のおやつ改善、給付型奨学金の創設を求

める。

【A】市長 子供の生活実態調査は、実施に向け前向きに検討する。

【A】教育部長 就学援助制度の充実、財政状況を勘案しながら検討したい。学童保育のおやつについては、保護者の意見などを把握して検討したい。給付型を含む奨学金制度の創設については、関係部局と多方面から検討したい。

世界記憶遺産登録

鳴門市と連携を

【Q】福部議員 第一次世界大戦時、本市の塩屋別院や鳴門市の



塩屋別院でのドイツ兵俘虜演奏会